

地域福祉の充実をめざして、支える心のネットワーク。



赤い羽根共同募金

2014

11

NOVEMBER



福祉ちば

編集・発行  社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

No.164



フィールドスタディ 地域の福祉活動

[浦安市]浦安市社会福祉協議会西2支部

エールちば

横芝光町ボランティア連絡協議会の取り組み

特集 千葉市生活保護世帯等学習支援事業

いきいきはたらく 社会福祉法人 松里福祉会「松里福祉作業所」

福祉の資格とわたしの仕事 精神保健福祉士

健康

子育て

地域・異世代
交流

が活動の
三本柱です



健康サロン

浦安市社会福祉協議会には10の支部社協があります。その中のひとつ、西2支部は、エリア内にJR京葉線の舞浜駅がある人口密度の高い地区ですが、毎月のように開催するサロンなどのイベントはどれも大盛況です。今回は高齢者の健康、子育て中のママの応援、そして地域・異世代交流を3本柱とする、西2支部のさまざまな取り組みをご紹介します。

■ 高齢者が健康に暮らせる街づくり

西2支部ではこれまで、地域福祉フォーラムの取り組みも取り入れながら、活発に活動を推進してきました。そして現在最も力を注いでいるのが、高齢者の健康維持を目的とした「健康サロン」や「健康教室」などの事業です。

「健康サロン」は毎月2回（第1・第3金曜日）、舞浜レインボーくらぶ会館で開催しています。地域包括支援セン



左から副支部長の市坪恵利子さん、支部長の谷昭夫さん、書記の高須和子さん

ターが作成した「浦安はつらつ体操」、ゴムを使った筋トレのような「セラバン体操」、軽快なリズムに合わせて顔と口のエクササイズができる、千葉県歯科医師会オリジナルの「スマイルアップ！ちば体操」など、お茶の時間を挟みながら身体を動かす2時間のプログラムとなっています。「健康のためでも1人で運動するのは面倒。だけど皆と一緒に楽しむ」と、毎回の開催を心待ちにしている参加者も多いそうです。また、年3回ほど「チェアエクササイズ」や「脳トレゲーム」などを行う特別企画を開催しています。

「健康教室」は東野にある総合福祉センターなどを会場に、2005年から毎年1回開催しています。著名な医療関係者などを講師に招き、健康に関する講演をしていただいた後、バイオリンやフルートなどの演奏で癒されるという流れになっています。

西2支部ではこのほかに、毎回約100名が参加する「日帰りバスツアー」（昨年は「笠間稲荷の菊まつり」へ）や、マジック、落語といったさまざまな

ショーを楽しめる「ふれあいまつり」など、高齢者が楽しめる事業を開催しています。

■ 子育てを通じた母親同士の気兼ねないおしゃべりタイム

子育て中のママを応援する代表的な事業が「子育てサロン」です。0歳児の母親を対象に毎月1回（第3月曜日）、富士見和貴会館で開催。毎回10組以上の



サツマイモの苗植え



子育てサロン



ふれあいまつり



ケナフの紙すき体験

母親が参加しています。時には保健師や歯科衛生士、助産師などを招いてお話を聞くこともあります。母親の友達づくりが主な目的のため、90分のほとんどをフリートークの時間としています。参加者同士、子育ての悩みなどについて気兼ねなくおしゃべりできて、初めて参加した人でもすぐ打ち解けられると好評です。

■ 子どもたちと高齢者の自然な交流を育む場を提供

また、地域・異世代交流の代表的な事業として、舞浜公園での「ケナフ・サツマイモ栽培」があります。

支部の発足まもない2002年から行っている「ケナフ・サツマイモ栽培」は、幼稚園児と高齢者の貴重な交流の場となっています。ケナフを栽培している理

由は、空気を綺麗にする植物だからとのこと。5月に皆で種をまき10~11月には2~3mもの大きさになったものを収穫し、幼稚園児が紙すきをしてハガキを作ったり、葉を粉にしてパンやクッキーに入れたり、竹炭を作っている団体に依頼して炭に加工することも。サツマイモは掘る食べるを楽しむだけでなく、ツルでクリスマス用のリースや正月飾りなどを作っています。

■ 若い推進委員を大募集！

今後については、「健康サロン」を自治会の協力を得て各地区で行えるようにしたいと考えているそうです。また現在、約50名の推進委員がいますが、もっと若い人にも加わってもらい、一緒に活動を推進していきたいとのこと。

浦安市社会福祉協議会 TEL 047-355-5271

将来を見据えて市民後見人を養成！

決して広くはない市内に10もの支部社協があるため、密度の濃い活動ができることが、浦安市社会福祉協議会（以下、浦安市社協）の特長と言えます。

浦安市社協では今年度から市より受託し、市民後見人の養成に力を注いでいます。施設実習を含む約10日間の「浦安市市民後見人養成講座カリキュラム」を実施し、最終的には3年後の一人立ちを目指しています。全国的にもそうであるように浦安市も高齢化が進んでおり、その数は今後さらに増えると予想されています。したがって高齢者や障がいのある方々を、福祉だけでなく法的に支えなければならない時代になりつつあり、そ

の役割を市民の方々にも担ってほしいと考えています。

子育て支援事業については、本年9月、浦安市、UR都市機構、そして浦安市社協の協働により、乳幼児と子育て中の親が交流できる場としてUR都市機構の賃貸住宅の集会所に「望海（のぞみ）の街 子育てサロン」をオープンし、初回は35組の親子が参加しました。浦安市は核家族が多いため子育て支援を重視すると同時に、地域の資源を有効に活用し地域づくりを推進する、官民一体となった先進的な取り組みです。

浦安市は東日本大震災で甚大な被害を受けました。その教訓を活かし災害時



左から地域づくり課・課長の青藤正伸さん、事務局長の石井克典さん、生活サポート課・課長の牧野剛さん

に向けた体制づくりに取り組み、昨年度に県内初となる常設型の「災害ボランティアセンター」を浦安市社協内に設置しました。

また現在、「うらやす地域福祉活動計画Ⅲ」を策定中で、これらの活動と併せてより多くの市民の方々に地域の活動に参加していただけるよう、内容を充実していきたいと考えています。

※浦安市人口：162,775人 65歳以上人口：24,568人 高齢化率：15.1%（平成26年9月現在）



利用者宅での話相手



福祉施設での演芸の発表



横芝光町社会福祉協議会
郡司優子さん



横芝光町ボランティア連絡協議会
会長 渡辺愛子さん

横芝光町ボランティア連絡協議会 TEL 0479-80-3611 (町社協)

町のボラ連が行うボランティア派遣事業

横芝光町ボランティア連絡協議会(以下、ボラ連)では、ボランティアルームを拠点にして、地域貢献を目的としたボランティア派遣事業を行っています。ボラ連主体での派遣事業は県内でもあまり例が無く、また、ボランティアの報酬や利用者負担が無いことも大きな特長となっています。

ボランティアの声から生まれた ボランティア派遣事業

ボラ連は平成18年、横芝町と光町が合併して横芝光町となったことを機に設立され、平成20年には活動の拠点として、横芝光町社会福祉協議会(以下、町社協)の支援のもと、ボランティアルームを開設しました。

ボランティアルームに集まるボランティアからは、「地域に貢献したい」「地域の人々のために何かをしたい」「でも、何が出来るだろう」という話を幾度となく聞くようになりました。

その矢先、平成23年に、町社協のヘルパー派遣事業が廃止となりました。

これを機に、新たに在宅福祉の支援を行いたい町社協とボランティアの熱い思



派遣事業の決議を行う総会の様子

いを事業化したいと思うボラ連とが話し合いを重ねました。そして平成24年度ボラ連総会において全会一致で、ボランティアにより在宅で生活する方々を支える仕組み、「ボランティア派遣事業」が誕生したのです。

ちょっとした困りごとを お手伝いする派遣事業

現在19のグループと個人ボランティア60人が登録をしています。

利用対象者は①65歳以上の高齢者、②障害をお持ちの方、③小学生以下の子どもがいる世帯とし、主な活動内容は次のとおりです。

- ・話相手
- ・ゴミ出し
- ・買い物のお手伝い
- ・散歩などの外出支援
- ・福祉施設などで開催する交流会への参加・手伝い など

ボランティアはこれらのちょっとした困りごとに対応するだけでなく、活動を通して地域の見守り活動を担っていることが、この派遣事業の大きな特長となっています。

ボラ連ならではの柔軟な対応

ボランティア活動なので、さまざまな

面で利用者ごとの対応ができます。これまでも話相手で訪問した際に会話中に出てきた「庭の雑草が気になっている」「醤油を切らして困っている」などのちょっとした困りごとにも迅速に「草刈り」や「買い物支援」を行うなど、柔軟に対応しています。

ボラ連の渡辺愛子会長は、「活動内容については一定の決まりごとを設けていますが、それ以外の依頼についても、無理せず出来る範囲でなるべく引き受けるようにしています」とのことでした。

派遣までの流れ

派遣までの流れは、まず、利用希望者ご本人から直接、または民生委員等関係者を通じて、困りごとを記載した利用申請書を、ボラ連役員が持ち回りで担当するボランティアコーディネーター(以下、コーディネーター)まで提出していただきます。その後、利用希望者のお宅を訪問して、今の状況や希望にあった活動が見込めるかなどを確認し、後日、派遣可能かどうか、コーディネーター間の話し合いで決めます。可能となった場合、登録ボランティアの中から、利用者宅までの距離、男女どちらが良いかなど、さまざまな条件を考慮し最も適任と思われる人を調整します。最後に、利用者ボランティアの顔合わせを行い、派遣内容を

確認したら、派遣が開始されます。

ボランティアコーディネーターの役割

コーディネーターの皆さんにお話を伺ったところ「コーディネート業務を通して、ボランティアのやる気や充実感を感じたり、利用者から感謝の言葉をいただけることが私たちのやりがいにもなっています」「この事業の必要性を感じるとともに、ボランティアの方々が皆、快く引き受けてくれることに感謝しています」と、いきいきとした表情で語ってくれました。

ボランティアは月に1回、活動の報告を行うためボランティアルームを訪れます。活動中の気づきや悩みについてコーディネーターと話し、アドバイス等を受けることで、自身の活動を振り返り、今後のより良い活動につなげることを目的の一つとしています。

モチベーションを高めるのは「笑顔」と「ありがとう」

「私たちはこの派遣事業を、サービスではなくボランティア活動として、お互い様の気持ちで行っているため、利用者負担や、ボランティアへの報酬はありません。この思いに賛同してくれる多くの登録者がいるからこそ、成り立っていると思っています」と、渡辺会長。

今後の活動については「その他の有償サービスとのバランス、話相手やゴミ出



福祉施設での演芸の発表



福祉施設の夏祭りへの派遣

しなど継続した活動が求められるものへの対応など、いくつかの課題はありますが『利用者の笑顔とありがとうの言葉が一番!』との思いを胸に、出来る限りこのスタイルで派遣事業を続けたい」とのことでした。

また、「学校と連携して子ども達と一緒に活動する場や、社会人・学生などが活動しやすい場を増やしていきたいです。高齢者の方々は若い人と話すのが大好きなので、ぜひ、ボラ連に加入して一緒に活動して欲しいですね」とのことです。

この派遣事業の立ち上げにあたり、町社協の郡司優子さんは、他の市町村から資料を取り寄せるなど、精力的に支援しました。

「この派遣事業はボランティアの『もっと何か地域のためになりたい』という声から生まれた活動です。これからもこの事業を続けていけるようお手伝いしたいです」と笑顔で話されました。



血圧測定会場へのボランティア派遣

Voice

【登録ボランティアからひとこと】



【登録ボランティア】
宇井 清子さん

健康維持体操のボランティア活動を行っています。以前、民生委員をしていたとき、一人暮らしの高齢者や障害をお持ちの方への相談援助等を行っている中で、「将来自分も誰かのお世話になるかもしれない」と感じていたので、地域で困っている人の力に少しでもなれるようにとの思いでこの派遣事業に登録しました。活動内容は、隔月で月3回、ゴミ出しのボランティア活動をしています。基本的にはゴミを受け取って出すだけですが、粗大ゴミの時は分別に時間がかかることもあります。ゴミ出しは時間が決まっているので遅れることがないよう心がけています。利用者の方は毎回「申し訳ない」と言ってくれますが、私としては「お互い様」の気持ちで行っていますし、徳を積ませていただいているとの気持ちで充実した日々を送っています。



【登録ボランティア】
若林 洋代さん

公共施設で高齢者を中心とした健康体操の指導を行っているボランティアグループで活動しています。そこで、一緒に活動する仲間から、電球の交換やゴミ出しなど日常生活のちょっとした困りごとを抱えている人や、何日も人と会話することがないという高齢者が地域の中に多くいるという話を聞き、そのような人たちの力に少しでもなればとの思いで始めました。

活動内容は、月1~2回、高齢者のお宅を訪問して話相手をしています。1回の時間は30分と決まっていますが、毎回、大変喜んでくれますし、楽しい会話に花が咲くこともしばしばなので時間オーバーしてしまいます。時には買い物も頼まれることもありますが、快くお受けしています。このように、時間や内容を柔軟に対応できるのがこの派遣事業の良いところです。自分が誰かの役に立てる間はこの活動を続けたいです。

ポイント!!

横芝光町における ボランティア派遣事業の特長

- 実施主体がボラ連であることで、組織を活かした継続的な活動が行える。
- ボランティア活動として行うことにより、個別のニーズやちょっとした困りごとなどへ対応することができる。
- 派遣事業を通して見守り活動が行える。
- 地域への熱い気持ちを持ったボランティアによって支えられている。

特集 「貧困の連鎖」を断つために！

子どもたちの高校進学を力強くサポート

【千葉市生活保護世帯等学習支援事業】



美浜区の教室風景

千葉市には、平成26年8月現在で生活保護を受けている世帯が約15,000世帯あり、生活保護には至らないものの生活に困窮している世帯はそれ以上と思われま

す。「千葉市生活保護世帯等学習支援事業」(以下、学習支援事業)は、このような世帯の中学2年生及び3年生に対し、高校へ進学するために必要な学力を身に付ける機会を提供し、「貧困の連鎖」を断ち切ることを大きな目的としています。今回は千葉市の学習支援の現場を取材しました。



どの働きかけを行っています。開始からまだ4年目の学習支援事業ですが、その効果は確実に出ており、平成25年度は参加申込者75名中73名が高校に進学しました。

学力に応じた個別対応、大きなボランティアの存在

学習支援事業で講師を務めるのは、NPO法人「ちば教育夢工房」に所属する教員OBの方々。

今回取材した若葉区の場合、講師があらかじめ作成したプログラムによって学習指導を行っています。しかし、同じ学年でも生徒ごとにより学力差があるた

め(中には九九の苦手だった生徒も)、学習指導全体の流れとは別に個別対応が必要となる場合もあり、講師だけでは手が回らないことも。その時に大きな力となっているのが学生ボランティアの存在です。

若葉区では平成26年度から、植草学

園大学の学生約10名がボランティアとして参加。毎回3~4名が講師をサポートしています。これにより英語の学習指導を行っている傍らで、数学を教えるといったフレキシブルな対応も可能になっています。また、年齢が近いことから「親しみやすい。教え方も上手でわかり

やすい」と生徒からも人気です。

生活困窮者自立支援法において学習支援は任意事業となっているものの、子どもたちの学習ひいては将来をサポートする重要な事業として、取り組みが県内各地で広がっていくことが今後ますます期待されます。

「生活困窮者自立支援法」も視野に

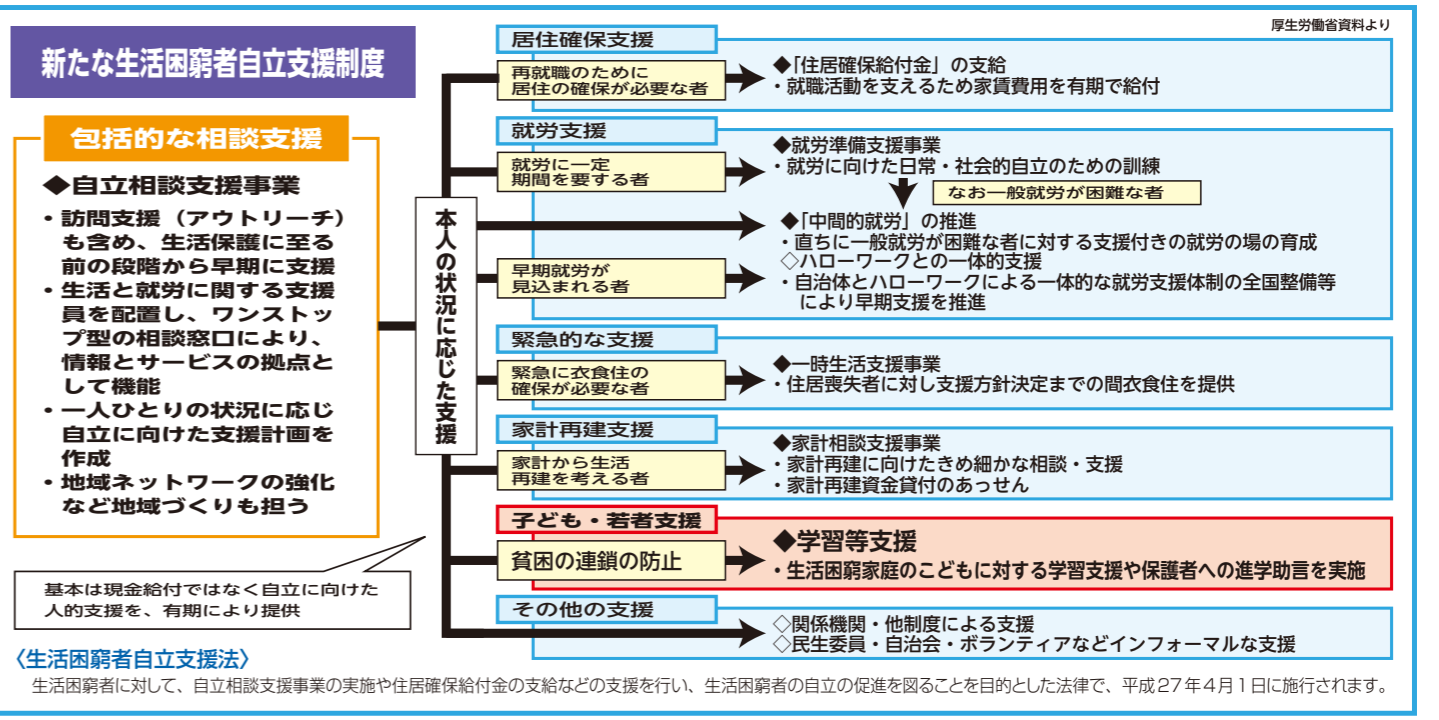
千葉市の生活保護受給世帯は年々増え続けており、財政を逼迫させる大きな要因にもなっています。そこで平成22年、市長を委員長とする「生活保護自立支援強化プロジェクトチーム」を立ち上げ、生活保護を受けている方々の自立支援のためにさまざまな取り組みを実施しており、学習支援事業は同プロジェクトの一環として平成23年度からスタートしました。

平成27年度から、生活保護に至る前の自立支援策の強化として「生活困窮者自立支援法」が施行され、学習支援事業もこの法律の対象となります。千葉市では法律の施行に先立ち、平成26年度から生活保護を受けている世帯の子どもたちだけではなく生活に困窮している世帯

の子どもたちも対象に、学習支援事業を市内全区で各区保健福祉センターなどを会場に週2回、18時から20時まで実施しています。

学習支援事業への参加申し込みは、生活保護を受けている場合は各区の社会援護課、生活に困窮している場合は生活自立・仕事相談センター(千葉市保護課)を通して行う仕組みになっており、初年度(平成23年)は対象者161名のうち89名が参加しました。

初年度は中学3年生のみを対象としていましたが、さまざまな理由からあまり勉強していなかった生徒も多かったため3年生からでは遅いと判断し、平成24年度からは中学2年生も対象としました。平成26年度は両学年ともに60名以上が参加しており、参加を希望しない生徒に対しても担当のケースワーカーを通じて呼びかけたり、保護者説明会を行うな



担当者の声 参加率や出席率の向上に尽力

若葉区は千葉市の中で学習支援事業の対象となる世帯が最も多く、ひとり親世帯が多いのも特徴です。現場では担当のケースワーカーを通じて働きかけたり、欠席者には担当職員が電話連絡をするなど、生徒の参加率や出席率を上げるための努力を重ねています。勉強することに慣れていない生徒も少なくないため、学力差も大きく学習指導中に騒ぐ生徒などもいますが、平成26年度から植草学園大学の学生がボランティアで来てくれるため、先生方の負担も大きく軽減し個別対応もしやすくなりました。今年で4年目となりますが年々進学率は上がっているので、これからも先生方の思い描くイメージで学習指導を進めて欲しいと考えています。

若葉区社会援護第二課
五木田泰孝さん

千葉市保健福祉局 保護課
自立支援班 主査
豊田和宏さん

千葉市保健福祉局 保護課
牧戸 大さん

先生の声 最終目標は志望校合格！

「ちば教育夢工房」を通じてこの学習支援事業の話を知り、その趣旨に賛同して講師を引き受けました。同時に、再び教壇に立てる喜びを感じています。最初の頃はどのように教えれば良いか、試行錯誤を繰り返しましたが、現在はかなりスタイルが定まってきました。ここにいる教員OB全員の最終目標は、生徒を志望校に合格させることです。したがって、関わった生徒から「合格しました！」という報告を受けた時などは、この上なくうれしく感じ、励みになります。

行木一夫先生

林孝夫先生

内山敬次先生

今澤正良先生

ボランティアの声 自分たちも勉強になります！

植草学園大学で社会福祉を教えている先生に誘われて、このボランティアに参加しました。将来は教員や保育士、幼稚園の先生などを目指しているメンバーが多いため、ここでの活動は良い経験になります。私たちは個別指導をすることが多く、中には手のかかる生徒もいますが、そのような生徒から「成績が上がった！」「勉強が楽しくなった！」という言葉が聞くと本当に嬉しいです。生徒たちに勉強を教える立場ではありますが、自分たちの勉強にもなると感じています。

左から
雪岡里帆さん、高橋真矢さん、工藤春菜さん

生徒の声 個別に対応してくれるわかりやすい学習指導に感謝

- 学校の成績が良くなかったため中学2年生から参加しました。ここの学習指導は本当にわかりやすいと思います。
- 1教科につき20~30点上がりました。本当に来て良かったです。
- 元先生の教え方はとてもわかりやすいです。
- わからない部分を細かく教えてくれるので嬉しいです。学校の授業にもついて行けるようになりました。
- 1対1でわかるまで教えてくれるのが良いです。
- ここに来て勉強が好きになりました。
- ボランティアの大学生が優しく丁寧に教えてくれます。

熱血発信!「福祉+介護の魅力・in CHIBA」～福祉人材確保・定着フォーラム～

■日 時：平成26年11月19日(水)13:30～16:15
 ■場 所：京葉銀行文化プラザ 3階音楽ホール
 ■対 象：学生・生徒及び保護者、社会福祉関係者、一般県民など関心のある方
 ■内 容：福祉・介護の仕事についての魅力や、これからの福祉の未来と専門性（プロの技）について、実演も交えながら分かりやすく解説。
 ◆なぜ？なに？介護 どうして介護が必要な時代なのか？
 ◆実演！これが介護です「プロのすご技 若い力の磨き方」
 ■参加費：無料（予約不要）
 ■問合せ先：千葉県福祉人材センター
 TEL:043-222-1294 http://chibakenshakyo.net/

きさらび福祉まつり2014

■日 時：平成26年11月22日(土)9:40～15:00
 ■場 所：木更津市民総合福祉会館（木更津市潮見2-9）
 ■内 容：「様々な市民の出会い」と「ふれあい交流の場」そして「老若男女、障がいのある方・ない方、共に生きる全ての方々が集う」ことを目的として毎年開催。
 地域福祉に貢献された方々の表彰をはじめ、木更津市障害者プラントウンミーティング（松本佳奈ミニライブ・障害者プランの報告）の他、福祉施設・各種団体等による多彩なイベント（芸能発表・体験コーナー・模擬店）を予定。
 ■参加費：無料（予約不要）
 ■問合せ先：木更津市社会福祉協議会
 TEL:0438-25-2089（担当：上野）

平成26年度 成年後見制度研修会

■日 時：平成26年11月29日(土)13:30～16:00
 ■場 所：千葉市生涯学習センター 2階ホール
 ■対 象：一般県民、福祉関係者、行政等
 ■内 容：成年後見制度について、よしもとのお笑い芸人による漫才と専門家による解説を交えて分かりやすく説明します。
 ■参加費：500円
 ■参加方法：11月20日（木）までにFAXかE-mailでお申込みください。定員になり次第締切。（参加申込書あり）
 ■問合せ先：千葉県社会福祉協議会（千葉県後見支援センター）
 TEL:043-204-6012 FAX:043-204-6013
 E-mail:smile@chibakenshakyo.com（担当：坂本・高田）

第6回東金チャレンジドフェスタ

■日 時：平成26年12月7日(日)10:00～14:00
 ■場 所：東金市保健福祉センター（ふれあいセンター）
 ■内 容：障害者週間（12月3日～9日）啓発の交流イベントです。各種模擬店や団体の活動PR・体験や相談コーナー、賑やかなステージ等。先着でおもちゃプレゼント。チーバくんやとっちも遊びに来るよ。
 ■主 催：東金市社会福祉協議会
 第6回東金チャレンジドフェスタ実行委員会
 ■問合せ先：東金市社会福祉協議会
 TEL:0475-52-5198 FAX:0475-52-8227

精神障がい者ピアサポーター養成講座開催記念講演会

■日 時：平成26年12月13日(土)13:30～15:30
 ■場 所：成田市保健福祉館（成田市赤坂1-3-1）
 ■対 象：関心のある方
 ■内 容：「レッツ！当事者研究 べてる式 in Narita」
 ◆病いや障がいを持った自分自身を分るコツ
 ◆多様な人々が同じ街で暮らすコツ
 ■参加費：無料（予約不要）
 ■問合せ先：成田市社会福祉協議会 地域福祉係
 TEL:0476-27-7755
 成田市保健福祉館（土・日曜日）
 TEL:0476-27-5000

平成26年度退職手当共済実務研修会

■日 時：平成27年1月23日(金)13:00～16:30
 ■場 所：千葉市生涯学習センター 2階ホール
 ■対 象：福祉医療機構退職共済加入法人の事務担当者等（定員300名）
 ■参加方法：参加を希望する法人は11月30日（日）までにFAXにて下記問合せ先までお申込みください。（参加申込書あり）
 ■問合せ先：千葉県社会福祉協議会 福祉サービス事業部
 TEL:043-245-1104 FAX:043-245-9040
 （担当：大村）

歳末たすけあいが12月1日からはじまります



平成25年度市町村歳末たすけあい募金総額 234,848,243円
 平成25年度NHK歳末たすけあい募金総額 24,676,484円
 たくさんのあたたかいご協力ありがとうございました



☆市町村歳末たすけあいは全額、寄付されたまちで民間の地域福祉に活用されています。
 ☆NHK歳末たすけあいでは、千葉県内の高齢者施設へ車いすなどの介護用品が、障害者施設には就労支援用品や生活用品が贈られました。

平成26年度 第64回 NHK歳末たすけあい

平成26年12月1日～25日
 全国の金融機関にて手数料無料で受け付けております。



洗濯機ありがとうございます。
 障害者生活介護支援施設 ピクシーフォレスト（四街道市）洗濯機の購入

平成26年度 市町村歳末たすけあい

平成26年12月1日～31日
 各市町村社会福祉協議会等の窓口にて受け付けております。

NHK歳末たすけあい 助成のご案内

内容	助成率	助成上限額	申請時期	助成時期
社会福祉法人、NPO法人等の施設利用者に役立つ備品	算定額の75%	20万円 （軽費老人ホームは15万円）	受付中 ～12月2日	第一次 平成27年1月 第二次 平成27年3月

日立サンロッカーズ東京と赤い羽根共同募金がチャリティパートナーシップ契約を締結



社会福祉法人千葉県共同募金会とNBL「日立サンロッカーズ東京」は今年度からチャリティパートナーとなり、9月28日の赤い羽根チャリティ サンロッカーズプレシーズンゲームにて新ユニフォームお披露目式と募金活動が行われました。



マスコットキャラクター サンディー 千葉県共同募金会 松本常務理事



illustration by 羽音 piapro
 ©CryptonFuture Media,INC.www.piapro.net

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

平成26年度

全国200万人加入!!

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険 検索

補償金額（保険金額）

保険金の種類	プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円	
	後遺障害保険金	1,200万円 （限度額）	1,800万円 （限度額）	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
通院保険金日額	4,000円	6,000円		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 （対人・対物共通）	5億円 （限度額）	5億円 （限度額）	

年間保険料

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	プラン	300円	450円
	天災タイプ* （基本タイプ+地震・噴火・津波）	460円	690円

*天災タイプでは、天災（地震・噴火・津波）に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをした。（ケガの補償）
- 活動に向かう途中、交通事故にあった。（ケガの補償）
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になった。（ケガの補償）
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこぼした。（賠償責任の補償）
- 自転車ボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。（賠償責任の補償）

ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

●お申込み、詳しい内容のお問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
 〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社
 TEL:03(3593)6245

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
 受付時間：平日の9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）
 この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

日本興亜損保と損保ジャパンは、関係当局の認可等を前提として、平成26年9月1日に合併し、「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」になります。 (NK13-80727 平成26年2月12日作成)

社会福祉法人 千葉県共同募金会
 〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3県社会福祉センター2F TEL:043-245-1721
 http://www.akaihane-chiba.jp

一致団結して
頑張りました！

千葉県選手団も大活躍!!

ねんりんピック栃木 開催



第27回全国健康福祉祭とちぎ大会
マスコット「とちまるくん」



10月4日から7日まで、栃木県にて「ねんりんピック栃木2014(第27回全国健康福祉祭とちぎ大会)」が開催されました。テニスやソフトボール、サッカーなどのスポーツ、そして将棋や健康マージャンなどの文化種目の交流大会が行われ、千葉県からは22種目に153名の選手が参加して地元の方々や他県の選手との交流を深めました。



ねんりんピックってなあに？

ねんりんピックとは全国健康福祉祭の愛称です。高齢者を中心としてあらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができるスポーツと文化の祭典で、毎年開催地を変えて開催されています。開催県では各地で60歳以上の方を対象にスポーツ・文化の交流大会が行われるほか、健康、福祉・生きがいに関連したシンポジウムや音楽文化祭など、様々なイベントが実施されます。

次回のねんりんピックは平成27年10月17日から20日まで、山口県で開催されます。

■問合せ先 千葉県社会福祉協議会 地域福祉推進班
TEL 043-245-2208
業務時間/月曜～金曜 8:30～17:15

次回
交流大会
全25種目

卓球 テニス ソフトテニス ソフトボール ゲートボール
ベタタンク ゴルフ マラソン 弓道 剣道 グラウンド・ゴルフ
なぎなた 太極拳 ウォークラリー ソフトバレーボール サッカー
水泳 ダンススポーツ ボウリング ラグビーフットボール
アーチェリー 囲碁 将棋 俳句 健康マージャン

賛助会員に なっていただけませんか

千葉県社協では、民間における地域福祉の中核的組織としての特性を発揮し、この住み慣れた千葉県で「互いに支え合い安心して暮らせる地域社会」の実現に向けて地域のあらゆる企業や関係機関・団体等と協働して地域福祉活動を進めています。

こうした本会の活動を支えるための賛助会員へのご加入をぜひご検討ください。

なお、賛助会員にご加入いただいた方へは、本会広報誌「福祉ちば」(年4回発行)を毎月お届けします。

- 【個人会員】
1口年額 10,000円
(何口でもご加入いただけます)
- 【法人会員】
1口年額 50,000円
(何口でもご加入いただけます)

■問合せ・申し込み先
千葉県社会福祉協議会 総務部
TEL 043-245-1101
<http://www.chibakenshakyo.com/>

中間的就労の実践に向けて手引書を作成しました

千葉県社会福祉法人経営者協議会では、「生活困窮者自立支援法」の事業の中で、社会福祉法人の役割に対する期待が大きい「中間的就労(一般企業で働くことが困難な人に対し、短時間の軽作業など可能な形で働ける場を提供して自立を支援するもの)」の実践に向けて、その具体的な手順を示した「手引書」を作成しました。

今後、この手引書を活用して、地域で孤立する生活困窮者に対し、社会福祉法人のみならず県内の多くの企業にも働きかけ、支援していきたいと考えています。

■問合せ先 千葉県社会福祉協議会 福祉施設経営支援班
TEL 043-245-1104 FAX 043-245-9040
業務時間/月曜～金曜 8:30～17:15



社会福祉施設経営相談日程

福祉施設の適正で安定した経営と福祉施設を利用している方々へのサービス向上をめざし、専門家による助言を行っています。

社会福祉施設経営相談専門家相談カレンダー(平成26年度)

月	会計等	労務等	法律
11月	4日(火)・17日(月)	5日(水)・19日(水)	12日(水)・26日(水)
12月	1日(月)・15日(月)	3日(水)・17日(水)	10日(水)・24日(水)
1月	5日(月)・19日(月)	7日(水)・21日(水)	14日(火)・28日(水)

●要予約。一般相談・予約は043-245-4450 社会福祉施設経営相談室まで

いきいきはたらく

働く喜びから生まれる 美味しい商品の数々!

社会福祉法人 松里福祉会「松里福祉作業所」

松戸市五香にある「松里福祉作業所」は、知的障害のある方々のための就労継続支援B型事業所です。この施設に通う利用者は、皆が「ここは自分たちの職場である」という、強い責任感を持って仕事に取り組んでいます。日々、多くの企業から作業依頼があるほか、自主生産のかきもちやあられ、そして有機肥料など数々の人気商品を生み出しています。

●さまざまな作業を受注

利用者の仕事に対する真摯な姿勢が高く評価され、お菓子の袋詰め、浄水器の分解・磨き、セラミック加工等々、さまざまな作業を受注しています。また、除草作業や近隣の工場に出向いての箱折り作業など、施設外での活動も行っています。さらに現在、敷地内に作業棟を増築中で、完成時(本年度中を予定)には、その1階で新たに給湯器の解体作業を請け負う予定となっています。



●美味しく安全な自主生産商品

代表的な商品が、契約農家から低農薬米を仕入れて作る自主生産のかきもちやあられ。「塩」「こしょう」「カレー」「一味」などさまざまな味を展開する中でもひとときわ高い人気を誇る「作・作あられ『しょうゆ味』」は、「はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー 2012」で「テレビ朝日福祉文化事業団大賞(製品部門)」を受賞。ちなみに「作・作(さくさく)」とは、食感の「さくさく」と作業所の「作」から名付けたそうです。その名のとおりに、「すごく食感がいい」と好評で、その食感と懐かしい味に惹かれるリピーターは確実に増えています。そして翌年にも、冬季限定の商品である「玄米ショコラ」が同部門の奨励賞を受賞。これらの商品は同作業所の窓口や、はーとふるメッセ千葉寺店や県庁店などで購入できるほか、電話やFAXでの注文も受け付けています。ご贈答用に箱詰めも可能です。



●イベントも充実!

毎年3月に日帰り旅行、9月に1泊旅行など、仕事だけでなくイベントも充実。8月に開催する「納涼祭」は、利用者のご家族や地域の方々など1,000人以上が参加し大いに盛り上がります。そして月に一度、働いて得た収入で好きなものを食べに行く「外食の日」というお楽しみもあります。

働く喜びに収入を得る喜び、そして思い切り楽しみお金を使う喜び。充実した日々を送る同作業所の利用者は、きっと明日も笑顔です。



●詳細はお電話か下記ホームページでご確認ください。

社会福祉法人 松里福祉会「松里福祉作業所」

〒270-2213 松戸市五香5-10-3 TEL 047-383-0847 FAX 047-710-5129 <http://www.matsusato.or.jp/>

福祉の資格 と わたしの仕事

精神保健福祉士

精神保健福祉士歴3年目
医療法人 静和会
地域生活支援センター ゆりの木



こぼり しん や
小堀 慎也さん

表紙の人

●精神保健福祉士について教えてください

この仕事はとても幅が広いので、簡単に説明するのは難しいのですが、主に精神的な問題を抱えている方々を対象にさまざまな支援を行います。入院している患者さんが退院するまでの支援を行ったり、地域で暮らしている方がその人らしく生活していけるように、利用者の立場に立ってさまざまな相談にのっています。

●現在の仕事内容を教えてください

この地域で暮らす利用者が生活している中で悩んでいることや、病気についての相談にのっています。また、さまざまなプログラム活動を通じて規則正しい日常生活や就労の準備へつなぐための支援を行っています。本日のプログラムは手芸ですが、私はパソコンと卓球などのスポーツを担当しています。

●精神保健福祉士をめざしたきっかけは？

学生時代は体育の先生になりたいと考え体育系の大学に進みました。その大学には体育の先生をめざすコースと精神保健福祉士をめざすコースがあり、その時に初めて精神保健福祉士という存在を知りました。そこで両方のコースを選択したのですが、精神保健福祉士の授業がどんどん楽しくなり、結局、精神保健福祉士をめざすコースに専念することにしました。そしてその頃、この大学で恩師と呼べる先生との出会いがあり、その先生のゼミなどで精神障害についてさらに深く学んだことでますます興味が強くなり、この道に進むことを決意しました。

●精神保健福祉士としてやりがいを感じる時は？

誰とも喋らなかつたり、いつも一人で音楽を聴いているような人が、私だけに話しかけてくれた時などは、努力し続けて良かったなと感じます。この仕事の場合、私一人の力で相手の何かをガラリと変えることはできません。しかし、今まで家に籠りきりだった人が週に一度でもこの場所に通うようになり、それがきっかけで何かしら良い変化をもたらすことができれば、



ある意味では成功とも考えています。

●大変だと感じる時は？

相手と言葉や心のキャッチボールが上手くできない時ですね。相手の本当の気持ちを聞き出すことがより良い支援につながるため、それができない時は辛いですね。また、10人いれば10人症状が違うため、何気ない言葉が相手の怒りを誘発することもあり、本当に気を使います。場合によっては、それが原因で話をしてくれなくなることもあります。

●今後の目標を教えてください

まずは相談支援専門員の資格を取得したいですね。そのためにはまだ、実務経験年数が足りないのですが、それまでに先輩方の仕事を見習いながら、万全の準備をしたいと考えています。この仕事の難しさは、このような場合はこうすれば良いという方程式が無く、相手や状況に応じて臨機応変に対応しなければならないことです。先輩方には多くの知識や経験に基づいたいくつもの対処法がありますが、私にはまだありません。したがって、今後さらに色々な経験を積んで、自分なりの対処法や判断基準を確立したいですね。

●これから精神保健福祉士をめざす人へメッセージを

精神保健福祉士は、資格があれば良いというものではなく、常に勉強し続けなければならない仕事だと思います。その意味では厳しい面もあるかもしれませんが、他の仕事では得られない大きな喜びややりがいもあります。興味がある方は、ぜひ見学に来てください。



精神保健福祉士
になるためには...

精神保健福祉士の資格を取得するためには、大学等で指定科目を履修する、相談援助実務を経験する、養成施設を修了する等、受験資格を満たしたうえで、毎年1回行われる「精神保健福祉士国家試験」を受験し合格する必要があります。詳細は下記まで。

■問合せ先 公益財団法人 社会福祉振興・試験センター ホームページURL <http://www.sssc.or.jp/>

